



県教育委員会教職員課・総務福利課にマニュアル等の点検を依頼しました

マニュアル・実務手引書等については、第17次県費事務改善検討委員会において編集作業を進め、無事に原案をとりまとめることができました。常任委員をはじめ、各地区から集まっていたいた検討委員の皆様、本当にありがとうございました。

10月13日(木) その原案の点検をお願いするため、会長、副会長、事業担当各理事の4人で、県教育委員会教職員課・総務福利課を訪問いたしました。

総務福利課では、諏訪年金給付係長に対応していただき、共済組合様式記入例の点検をお願いしました。教職員課では、上戸給与係長に対応していただき、修正点を説明したうえで、マニュアル等の点検をお願いしました。

県内の学校事務職員が適切な業務を行うための支援の一環として、業務多忙の折にもかかわらず快くお引き受けいただいた県教育委員会教職員課・総務福利課の皆様、深く感謝申し上げます。

また「『出産・育児』ハンドブック」についても、県教職員福祉事業連絡会の各団体に点検を依頼しました。こちらも快くお引き受けくださいましたことに、厚く御礼申し上げます。

今後は、点検結果を受けて、常任委員の方々に仕上げの編集作業をお願いし、2月中の県事協データ版の完成と各地区への配布に向けて準備を進めていきます。

「県事協データ版2022」編集中です

県事協データ版には、県事協の「諸手当認定・電算マニュアル」「学校事務の実務手引書」の他にも、給与事務等の様式や、県費事務に関する資料・過去の通知通達などの情報が収録されています。HPに掲載されるものも多いのですが、マニュアル等は半年ほど早くデータが手に入りますし、過去の通知通達はこちらにしかありません。また、データ版をPCに入れておけば、ネットに繋がらない環境でも使えるのは利点だと思います。

なお、現在にいたるまで各地区へのデータ版配布はCDで行っているところですが、本事業開始時と比較して、ネット接続をはじめ執務環境が大きく変化していることを考慮し、来年度以降の配布方法等について、改善策を検討しているところです。

県事協マニュアル等印刷サービスについて

冒頭でもお知らせしたとおり、マニュアル等のデータ更新に向けて、鋭意、編集作業を進めているところですが、紙媒体のマニュアル等の加除を行うには、教育用品株式会社が行っている、印刷サービスに申し込む必要があります。

地区ごとにまとめて申し込んでいただく分については、各地区評議員さんを通じて、送付先等を把握させていただいたところですので、ご協力いただいた皆様、お忙しい中ありがとうございました。

なお、取りまとめ分以外で、私用分や公用分を申し込まれる方は、11月下旬に、各地区より案内がありますので、その機会にお申し込みください。よろしく願いいたします。

活動経過及び予定

9月9日	理事会・常任委員会
9月30日	ホームページ更新
10月13日	理事会
11月24日	理事会・第3回評議員会
1月13日	理事会・第3回常任委員会
2月下旬	県事協マニュアル等発送

北薩地区からさつま町の紹介？

文責：さつま町立山崎小学校 大井陽一郎

今回は趣向を変えて？

県事協だよりの地区紹介について調べてみると？ある程度、自由が認められているようです。そこで今回は「支援室便り」を掲載してみようと思いました。ただ県内一(であろう)超長編。また、文体？も独特(笑)なものとなっています。

そのため、県事協だよりの担当者がどこまで載せる(カットする?)かは不明です…。実は、現在の担当者は同期のJさん。ちょいちょいお世話になっているのに…。面倒をかけてごめんなさいね(笑)。

さつま町の教職員や北薩地区の学校事務職員のみなさんはある程度、免疫や諦めもあるでしょうが、初めて読まれる方は…ご苦労願います。書いた動機は不純？で、突っ込みどころも盛りだくさんです。しかし、その辺は気にせず(笑)、さつま町の学校事務職員及び学校事務職員部会と教育総務課や学校教育課との「距離感」というか、何でも話し合えるような雰囲気。「関係性」を感じてもらえたら、うれしいです。そうすれば？少しは参考になるのでは…。

ちなみに…。私はパソコン等の取扱いも苦手ですし、決して「ICT推進派」でもございません(笑)。

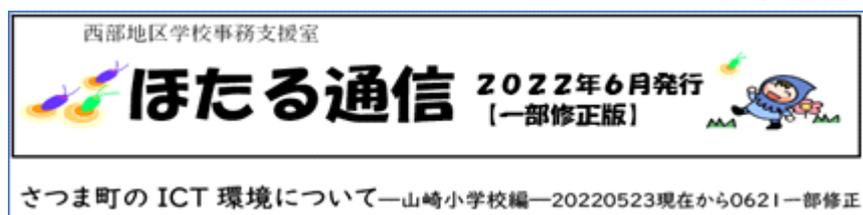
県事協役員のみなさま方には県下の学校事務職員のため、また各地区の協議会をつなぐ大切な役割を担っていただいています。ただただ感謝しかありません。そこで？少しはお役に立てれば、恩返しができるば…と考え、今回「ほたる通信」を提供させていただきました。…が、逆に迷惑をお掛けすることになるかもしれません。しかし、そこはみなさん同業者。「広い心」にて読んでいただくとありがたいです。

○県事協だより編集担当より

今回お寄せいただいた「ほたる通信」は、下記タイトル以降、7ページにわたる支援室だよりとなります。

7ページとなると、いち広報誌のいちコーナーとしてはバランスを損なう恐れがあるボリュームなので、一部を抜粋して掲載させていただきます。全文については、県事協HPの【県事協だより】ページにて「付録」として公開しますので、抜粋部分に興味をそそられて、HPを閲覧していただければ幸いです。

タイトル部分、可愛らしいですね。



以下抜粋です

～「目的と情報の共有」。「連携」は大切です。しかし、現在の学校現場と教育委員会。正確には教職員と学校教育課と教育総務課の連携はどうでしょうか？。みなさん、それぞれでとても忙しいです。連携を深めるためにはある程度の余裕と緩衝材(クッション)的役割が必要に感じます。また、「親近感」と「緊張感」。「刺激」と「楽しさ」みたいな少し矛盾をはらんだものも。また、そのバランスも大事かもしれません。それらは、どちらか欠けていても…というより、どちらかだけでは、単なる「(それぞれの)一方通行」にしかならないように思います。忙しさもあり、互いに連携している「つもり」だと思いたいだけ。もしくは、そのようなことに気づく余裕すらないのかもしれませんが…。

確かにとても忙しいです。しかし、少しの余裕。「時間」さえあれば「連携」もでき、業務改善や新しいアイデアも生まれるような良い循環が生まれるかもしれません。今回のテーマ「ICT機器(関連)」に振り回されたり、毛嫌いしたりせず(笑)。もっと気軽に、そして有効に活用することで、その時間を生み出すきっかけになったらいいですね…。この支援室便りが少しくらいお役に立つ…まではいかなくとも、そのヒントになってもらえたら幸いです。

さつま町の規模。さつま町の教育委員会(教育総務課と学校教育課)となら、(そのような)「理想的な」関係が築けそうな気がします。そして、私たち学校事務職員(事務職員部会)は、それらの「架け橋」的役割を担えたらと考えています。そのポジションを真剣に楽しむ的な、バランスの取れた「しなやかな覚悟」と共に…(笑)。～

～ 日置地区の紹介～

照島小学校 田中 信芳

いちき串木野市と日置市からなる日置地区は、小さい地区ではありますが、数多くの観光スポットがあり、また、イベント等も多く行われています。その中から、今回は2つのイベントを紹介したいと思います。



秋の美山を心行くまで楽しめる1週間！

毎年11月上旬に東市来町で行われている美山燻元祭り(「美山クラフトウィーク」に名称変更)には、県内外から約6万人の人々が訪れ、深まる秋の美山が賑います。

伝統と歴史に触れ、薩摩焼をはじめとする工芸品に親しんでもらおうと昭和61年から開催されています。

海岸を馬が疾走！半世紀の歴史のあるイベント！
串木野浜競馬大会は、毎年4月にいちき串木野市の照島海岸を競馬コースとして行われる大会です。

昭和33年に当時の荷馬車組合の花見の余興として馬を走らせたのが、今日まで続けられています。

照島海岸で可愛らしいポニーや鞍馬(農耕馬)がユーモラスなレースを展開します。



【鹿児島県観光連盟HPより】

～ 日置地区学校事務職員会の紹介～

日置地区学校事務職員会は、日置市事務職員会(22人)及びいちき串木野市事務職員会(13人)で構成されています。毎年7月に実施していましたが、豪雨やコロナ禍のため中止していましたが、4年ぶりに半日でしたが開催することができました。

今回は、鹿児島教育事務所総務課による給与・旅費等の事務に関する説明や学校事務現状報告会に向けて日置市事務職員会のレポート発表等を実施しました。

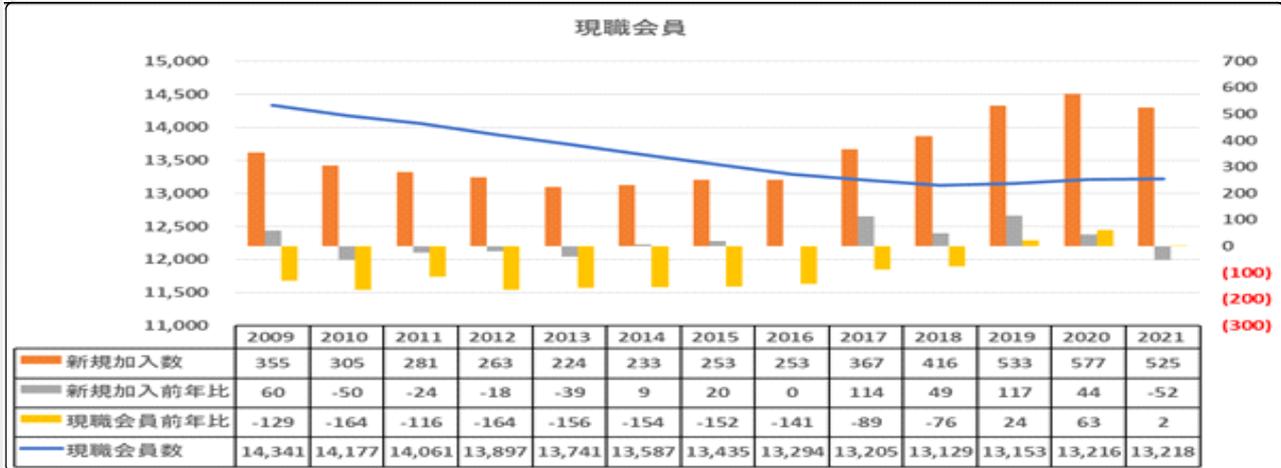
その他にも、5月に地区の総会、2月にお互いの市の研修内容について意見交換を行う地区研修交流会を教育事務所主催の研修会の後に開催しています。

長引くコロナ禍や物価高騰により、学校現場も厳しい状況ではありますが、今後も事務職員にとって必要不可欠な組織として役割を担い、発展していけるよう取り組んでいきます。

鹿児島県教職員福祉事業連絡会からのお知らせ

共助会の新規加入目標 ... 500人！

2016年度から新規加入者目標数を500人に設定し、各学校の事務職員の先生方にご理解、ご協力をいただきご支援を賜ってまいりました。グラフに表れているように年々、成果が表れ、2019年度からは現職会員前年比もプラスに転じてきました。これも皆様のご支援の賜と心から感謝申し上げます。



2021年度末の現職会員数は、13,218人で、この内訳は、私立・大学職員が632人、**県費教職員が12,586人**(臨時的任用職員160人を含む)でした。2021年度当初の鹿児島県内の公立の小・中・高校・特別支援学校に勤務している**県費教職員総数は、15,424人**ですので、**県費教職員の加入率は約81.6%**でした。

2022年4月当初の共助会の県費教職員現職会員数は、現職加入(23人)、定年退職者等による退会(461人)を相殺した12,148人(臨時的任用職員165人を含む)ですので、**県費教職員総数、15,429人**に対しての加入率は、**78.7%**からのスタートでした。9月までの集計では、昨年度とほぼ同程度の加入となっています。残り半年、目標の500人に向けてご協力をお願いいたします。

2022年度；新規加入	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	昨年度同期	昨年度末総計
現職(2年目以降)	23	13	19	17	15	14	101	112	274
新規採用教職員		20	91	8	19	18	156	140	140
臨時的任用教職員	0	1	5	1	5	2	14	16	60
県費教職員；小計	23	34	115	26	39	34	271	268	474
県費教職員加入；合計	12,148	12,182	12,297	12,323	12,362	12,396			12,586
加入率；県費教職員	78.7%	78.9%	79.7%	79.8%	80.1%	80.3%			81.6%
私学等	2	5	10	8	0	3	28	32	51
合計	25	39	125	34	39	37	299	300	525
臨任から新採へ移行	49						49	34	34

お世話になります。教職員共済です。 事業所 電話(099 - 225 - 2587)
Fax (0120 - 974 - 348)

教職員共済は、教職員の「助け合い」から制度が始まりました。教職員賠償を含む「総合共済」、公務中、通勤中の事故は、等級ダウンしない制度を持つ「自動車共済」、死亡、入院、特定の病気の3つの「もしも」に備える「団体生命・医療共済」、火事や災害の備えに「火災・自然災害共済」等、どうぞご利用ください。



自然災害への備えは大丈夫？

9月の台風は「かつてない勢力の台風」と予報されていましたが被害はなかったでしょうか？建物だけでなく、門扉やカーポートなどの付属物の被害も共済(保険)金の対象となることがあります。教職員共済の自然災害共済や総合共済に加入の先生方、もし何かしらの被害があれば、事業所へお電話ください。

また、民間損保では、10月加入や更新時から掛金額や補償内容、補償期間が変更となるようです。加入の方は、ぜひ確認をお願いします。(教職員共済の火災共済・自然災害共済には変更ありません。)

「加入状況のお知らせ」「保険料控除証明書」の発行

教職員共済では、「加入状況のお知らせ」を10月中旬ごろから送付します。この中には「利用分量割戻」や「総合共済退職見舞金」などの情報も記載されています。

また「保険料控除証明書」も「お知らせ」につけてあります(小豆色の封筒です)。年末調整の事務手続きをよろしくお願いたします。「控除証明なし・総合共済のみ加入」の方にも色違いの封筒で「加入状況のお知らせ」を順次送付いたします。



オンライン相談スタート！！

勤務校が鹿児島市内から遠い方や、休業中の方などで、面談希望の方はお気軽に事業所までお電話ください。面談時間は、9:00～17:30です。データ容量は60分で260MB程で、通信料は参加者負担です。事前に電話連絡を取り、設計書や資料をお送りして、スムーズな面談に努めます。ガラケーではできませんので、スマホもしくはタブレット端末の使用となります。

ここからは、前号で掲載できなかった、理事役員退任・就任あいさつをお送りします。

理事役員退任のあいさつ

西阿木名小・中学校 小隈 美香



6年間、理事をさせていただきました。以前実務手引書の常設委員をさせていただいた折、各地区のみなさんや当時の理事役員さんにとってもお世話になりましたので、理事のお話をいただいた際、今度は私も皆様のお力になれたらとお引き受けしました。ですが、理事になってからはそれまで以上に、皆様にたくさんのご協力をいただき、たいへんお世話になることばかりでした。関係する皆様のおかげで毎年検討を重ねることができました。厚く御礼申し上げます。

このたびの異動で勤務校も支援室も変わりましたが、赴任先にも見慣れた黄色い冊子が当たり前にあり、支援室では黄色い冊子を持って来てめぐりながら若い学校事務職員の方々もともに認定事務にあたる姿があり、PDFファイルから読むかたもいて、出産に関する話題では「それハンドブックに載っていたよ」との声かけもあります。これが日常の光景になっているのは、地区の評議員のみなさん、会員のみなさんの、多くの方々の長い間のお力添えがあったからこそであり、たいへんありがたいことと身に染みて思います。そして学校や地区が変わっても安心して学校事務にあたるのも、県事協の「県下の学校事務職員が等しく情報を共有・享受し、広域的に連携する」活動が、学校事務職員が県下のどの小中学校・義務教育学校に行っても安定した学校事務を提供できることに、このようにつながっているからだ実感しています。

県事協マニュアルより前には実務手引書、その前には県事協版の福利厚生様式記入例や起点表が作成されて長年更新を重ねています。県事協が積み重ねてきた事業はどれも、「学校事務職員として自信と誇りをもって職務に向かい合う」という目的に欠かせないものであり、作成されてきたものは、これから採用される、あるいはまだ巡り合っていないけれど県内のどこかで尽力されている学校事務職員とも、ともにすすんでいくためのツールのひとつだと思います。更新にあたり、寄り集まって、どのようにあればよいだろうかと一緒に疑問や考えを寄せ合って検討する、営みそのものも貴重で大切な意義がある機会です。このような県事協の事業に携わり、更新のお手伝いできたことは、ありがたく幸せでした。

おかげさまで既に新しいメンバーで今年度の検討委員会が順調に進んでおり、一安心しております。これからも皆様のお力添えをお願いいたしますとともに、私もこれからも会員のひとりとして県事協の活動に協力してまいります。本当にみなさま、ありがとうございました。

安房中学校 井上 早苗



2018年4月より、4年間理事として県事協にかかわらせていただきました。

総務担当理事として、理事会・評議員会の計画作成や、総代会・学校事務現状報告会の運営を担当しました。とくに学校事務現状報告会は、各地区から寄せられる研修成果を参加者で共有することが目的になります。当初は導入まもない「学校事務の共同実施」についての実態報告という位置づけでしたが、それも含め私たちの業務全般について各地区における「現状」交流へと方向性を広げていきました。担当した期間には奄美市・霧島市の研修会の組織的運営、入来地区の小中学校合併に関する当該支援室での連携、種子島での単身赴任手当について共通資料作成、知覧地区での予算に関するとりくみ、鹿屋市吾平地区の学校納金事務改善等、それぞれ「現状」をどうとらえ、どのように対応したか、というすばらしい報告ばかりでした。

これまでの互助組合会館での開催、さらに2020年の「コロナ禍」による中止を経て、2021年はより広い会場のサンエールかごしまでの開催となりました。いずれの会場でも役員理事で協力しながら運営できたこと、また、各地区で運営協力をいただいた方々も数多くいらっしゃいます。多くの会員の努力で現状報告会が運営されてきました。さらに実施上で生じた課題も含めて県事協の財産となっていると思います。今年度の現状報告会も、再度中止という結果になったのは残念なことです。報告内容を後日じっくり読ませていただきます。

4月の異動で離島に赴きましたので、理事を退くこととなりました。現在の屋久島でも、毎回工夫して町事務研が開催されています。学校事務職員の業務は、多くがルールに基づいて進められますが、校内では少なからず自分の方針・判断で執り行うことも多いです。今後は一層、学校外への役割も求められることも多くなると思います。学校に少数の私たちは、お互いの研修による研鑽をもって、それを積み上げてそれぞれが学校の機能を成り立たせています。今後も学校事務職員による充実した研修は欠かせません。とりまとめの県事協をこれから先どのように作っていくか、一会員として関わりを持ちたいと思います。

大変お世話になりました。ありがとうございました。

次ページへ続く

県事協理事を終えて



2019年8月から理事として、『学校事務職員の業界の貢献できるのであれば』と思い、県事協の理事を3年間務めさせていただきました。

正直人生で一番大変な期間となりましたが、色々な先生方とお知り合いになり、なかなか経験できない貴重な体験もすることができました。

また、3年間勤めることが出来たことは、多くの先生方の『協力と助言』だと思っております。今後は県事協一会員として頑張りたいと思います。

短い間でしたが、ありがとうございました。

理事役員就任のあいさつ



このたび理事に承認されました鹿児島地区・武小学校の山本と申します。

運営上の関係で、すでに4月から事業担当として働かせていただいておりますが、諸手当認定マニュアル等の更新におきましては、評議員、県費事務改善検討委員、常任委員の皆様をはじめ、県下の会員の皆様からたくさんのご協力をいただき、今年度も順調に業務を進めているところです。

たくさんの方々の協力と努力があって、県事協の事業が成り立っていることに感謝しながら、理事として自分の責任を果たせるように、精一杯努めていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。



県事協の理事に就任いたしました、姶良市立蒲生中学校の谷村です。

「県下の学校事務職員が等しく情報を共有・享受し、広域的に連携する」ために、多くの方々を手をかけた大切につないできた県事協という組織の中で、理事として何ができるだろうかと不安もありますが、まずは目の前のことから丁寧に、精いっぱい努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。



このたび理事に就任しました、川畑小学校の岩切です。

何をあいさつすべきかいろいろ考えました。私にはこれといった特別な力はありませんが、ひとつ言えることは、この鹿児島県の学校事務職員という職が好きです。自分さえよければという思いは持っていません。この鹿児島県の学校事務職員全体のことを考えていますし、学校事務がよりよい方向に行くことを願っています。

まだどのような役割を担っていくのか、全てはつかめていませんが、この鹿児島県の学校事務職員全体のためにはどうしたらよいだろうかという視点は失わずに、今後の任務にあたりたいと考えています。今後ともよろしく願いします。

編集後記

また負けました。鹿児島ユナイテッドFC(サッカーJ3)。共助会がチケット購入補助をしていたりするので、県事協会員の皆様も多少はご存知の存在かと。シーズン最終盤の直近4試合で0勝3敗1分という体たらくです。

今シーズン序盤から最近まではJ2昇格に向けて順調に歩みを進めていたのです。我が家でも、さほど興味を持っていなかった妻が、試合の内容や結果に一喜一憂し、若手選手に足りない部分があれば悪態をつき、そこが改善されていけば我が子のこゝろのように喜ぶなど、見事にハマってしまったというのに…。どんよりと心晴れぬ日々が続いています。

そんな我が家に追い打ちをかけるようなニュースがありました。英国人男性のストレス原因のトップは、経済的なことや毛髪が減る恐怖等を抑えて、鼻頂のサッカーチームの試合観戦だというもの。わざわざストレスを抱えるためにサブスクにお金を使い、やけ酒をあおるなんて、本当にムダの極み。とっとと距離をおくのが賢い生き方なのでしょう。

しかし、ムダを省いて賢く生きよと囁く声を、素直に受け入れ難いのが正直なところ。日々の暮らしの中で、損得抜きにハマれる「あそび」や「ゆとり」をムダだと削った先に、潤いある人生や社会が待っているとは思えませんからね。

まゝそれはそれとして…残り2試合しっかりと勝利して、すっかり萎れた心に潤いを与えて欲しいものです。 國